

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3209012号
(U3209012)

(45) 発行日 平成29年3月2日 (2017.3.2)

(24) 登録日 平成29年2月8日 (2017.2.8)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 7 G 9/02 (2006.01)

A 4 7 G 9/02 B

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

A 4 7 G 9/10 D

A 4 7 C 27/00 (2006.01)

A 4 7 G 9/02 P

A 4 7 C 27/00 E

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2016-5817 (U2016-5817)
(22) 出願日 平成28年12月6日 (2016.12.6)(73) 実用新案権者 391021053
ジャパンライフ株式会社
東京都千代田区西神田2-8-5
(74) 代理人 100081558
弁理士 齋藤 晴男
(74) 代理人 100154287
弁理士 齋藤 貴広
(72) 考案者 山口 隆祥
東京都千代田区西神田2-8-5 ジャパ
ンライフ株式会社内

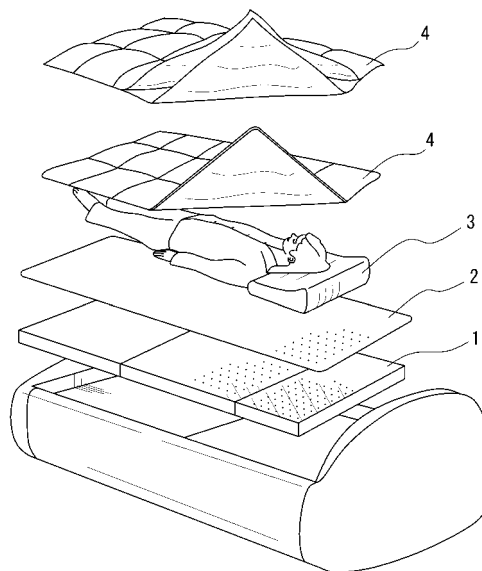
(54) 【考案の名称】 磁気寝具セット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】複数種の磁気治療用製品を併用することによる複合的・相乗的效果が得られ、且つ、就寝中に全身に亘って磁気作用を及ぼすことができ、以て、身体全体の血行を促進してコリを和らげ、十分な磁気治療効果を奏し得る磁気寝具セットを提供する。

【解決手段】下から順にマットレス1、ベッドパッド2、枕3、掛布団4を積層して成り、マットレス1、ベッドパッド2、枕3及び掛布団4にはそれぞれ、永久磁石が所定の配列にて配備される。永久磁石としては、シリコンゴムシート製の方形ベースの四隅に永久磁石を定着し、隣り合う永久磁石の磁極が互いに異極となるように配置された磁石ユニットが用いられる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

下から順にマットレス、ベッドパッド、枕、掛布団を積層して成り、前記マットレス、ベッドパッド、枕及び掛布団にはそれぞれ、永久磁石が所定の配列にて配備されていることを特徴とする磁気寝具セット。

【請求項 2】

少なくとも前記掛布団に用いられる前記永久磁石は、シリコンゴムシート製の方形ベースの四隅に永久磁石が定着され、隣り合う永久磁石の磁極が互いに異極となるように配置された磁石ユニットである、請求項 1 に記載の磁気寝具セット。

【請求項 3】

前記磁石ユニットは、前記方形ベースが補強用熱接着パッチと固定用熱接着パッチに挟まれ、その永久磁石部分が生地から露出するようにして前記生地に接着又は溶着され、更に、前記方形ベースを囲むように縫着されることにより前記生地に固定されている、請求項 2 に記載の磁気寝具セット。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、磁気寝具セットに関するものであり、より詳細には、就寝中に全身に亘って磁気作用が及び、十分な磁気治療効果を得ることができる磁気寝具セットに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

身体に磁気作用を及ぼすことで磁気治療効果を発揮する磁気治療用製品として、多種多様なものが出回っている。例えば、身体に装着して用いるものとしては、磁気治療用の腰ベルト、膝・肘サポーター、磁気チェーン等があり、また、寝具としては、磁気マットレスや磁気布団、磁気枕等の磁気製品がある。これらの磁気治療用製品はいずれも、それぞれ単独使用での磁気治療効果を想定したものである。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開平 7 - 2 5 5 8 6 6 号公報

【特許文献 2】特開平 6 - 2 0 5 7 2 0 号公報

【特許文献 3】実用新案登録第 3 0 7 5 5 2 7 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

上述したように、身体に磁気作用を及ぼすことで磁気治療効果を奏する、身体に装着して用いる磁気治療用製品や寝具が種々提供されているが、それらはいずれも、単独使用での磁気治療効果を想定したものであり、複数種の磁気治療用製品を同時に併用することの複合的・相乗的効果を狙ったものではないので、得られる磁気治療効果も自ずと限られたものとなる。

【0005】

そこで本発明は、複数種の磁気治療用製品を併用することによる複合的・相乗的効果が得られ、且つ、就寝中に何ら意識することなく全身に亘って磁気作用を及ぼすことができ、以て、身体全体の血行を促進してコリを和らげ、十分な磁気治療効果を期待し得る磁気寝具セットを提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

上記課題を解決するための請求項 1 に記載の考案は、下から順にマットレス、ベッドパッド、枕、掛布団を積層して成り、前記マットレス、ベッドパッド、枕及び掛布団にはそ

10

20

30

40

50

れぞれ、永久磁石が所定の配列にて配備されていることを特徴とする磁気寝具セットである。

【 0 0 0 7 】

少なくとも前記掛布団に用いられる前記永久磁石は、シリコンゴムシート製の方形ベースの四隅に永久磁石を定着し、隣り合う永久磁石の磁極が互いに異極となるように配置された磁石ユニットである。前記磁石ユニットは、前記方形ベースが補強用熱接着パッチと固定用熱接着パッチに挟まれ、その永久磁石部分が生地から露出するようにして前記生地に接着又は溶着され、更に、前記方形ベースを囲むように縫着されることにより前記生地に固定されている。

【 考案の効果 】

10

【 0 0 0 8 】

本考案に係る磁気寝具セットは、上記の通り、下から順にマットレス、ベッドパッド、枕、掛布団を積層して成り、前記マットレス、ベッドパッド、枕及び掛布団にはそれぞれ、永久磁石が所定の配列にて配備されているので、これら複数種の磁気治療用製品を併用することによる複合的・相乗的磁気治療効果が得られ、且つ、就寝中の楽な姿勢において、何ら意識することなく全身に磁気作用を及ぼすことができ、以て、身体全体の血行が促進されてコリが和らげられるという磁気治療効果を十分に享受し得る効果がある。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 0 9 】

20

【 図 1 】 本考案に係る磁気寝具セットの全体構成の分解斜視図である。

【 図 2 】 本考案に係る磁気寝具セットの掛布団における磁石ユニットの配置例を示す図である。

【 図 3 】 本考案に係る磁気寝具セットの掛布団に用いる磁石ユニットの構成を示す正面図である。

【 図 4 】 本考案に係る磁気寝具セットの掛布団に用いる磁石ユニットの取り付け方法を示す簡略縦断面図である。

【 図 5 】 本考案に係る磁気寝具セットの掛布団に用いる磁石ユニットの取り付け方法を示す図である。

【 図 6 】 本考案に係る磁気寝具セットにおけるマットレスの構成例を示す部分破断斜視図である。

30

【 図 7 】 本考案に係る磁気寝具セットにおける枕の構成例を示す部分破断斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 1 0 】

本考案を実施するための形態について、添付図面を参照しつつ詳細に説明する。本考案に係る磁気寝具セット 1 は、下から順にマットレス 1、ベッドパッド 2、枕 3、掛布団 4 を積層して成り、これらマットレス 1、ベッドパッド 2、枕 3 及び掛布団 4 にはそれぞれ、永久磁石が所定の配列にて配備されていることを特徴とする（図 1 参照）。掛布団 4 は、図 1 に示される例のように 2 枚重ねされる場合もある。

【 0 0 1 1 】

40

これらの 4 種の寝具のうち、特に掛布団 4 は、就寝中に身体を圧迫しないようにするために軽量であることが望ましいので、その裏面側、換言すれば、身体当接面側に多数配置されることになる永久磁石によって、重量が嵩まないようにすることが要請される。また、永久磁石は多数配置する必要があるため、軽量であると共に取り付け容易であることが望ましい。

【 0 0 1 2 】

このような要望に応えるため、本考案における掛布団 4 には、以下に述べる構成の磁石ユニット 5 を用いることが推奨される。その磁石ユニット 5 は、図 3、4 に示されるように、通例シリコンゴムシート製の方形ベース 6 の四隅に、直径が 5 mm 程の永久磁石 7、7 a を定着し、シリコンゴムシートで被覆したものである。好ましくはその場合、隣り合う永久磁石 7、7 a の磁極が互いに異極となるように配置される（永久磁石 7 が N 極

50

で永久磁石 7 a が S 極)。

【 0 0 1 3 】

例えば、この磁石ユニット 5 は、掛布団 4 の裏生地 8 に 6 8 セット、定間隔置きに取り付けられる(図 2 参照)。そして、磁石ユニット 5 の掛布団 4 の裏生地 8 への取り付けは、以下の順序で行われる(図 4、5 参照)。

1) 裏生地 8 に補強用熱接着パッチ 1 0 を接着する。

2) 裏生地 8 から補強用熱接着パッチ 1 0 にかけて、磁石ユニット 5 の永久磁石 7、7 a の位置に対応するように磁石露出穴 1 1 を開ける(図 4 においては、裏生地 8 と補強用熱接着パッチ 1 0 が離れた状態において磁石露出穴 1 1 が形成されているが、実際には、磁石露出穴 1 1 は裏生地 8 に補強用熱接着パッチ 1 0 を接着した後に形成される。)

3) 永久磁石 7 を磁石露出穴 1 1 に嵌め入れて磁石ユニット 5 をセットする。

4) 磁石ユニット 5 の上に固定用熱接着パッチ 1 2 を被せ、固定用熱接着パッチ 1 2 と補強用熱接着パッチ 1 0 を生地 8 に溶着する。

5) 磁石ユニット 5 を囲むように、裏生地 8 から固定用熱接着パッチ 1 2 にかけて縫製する(図 5 の縫製系 1 3 参照)。

【 0 0 1 4 】

この磁石ユニット 5 は、掛布団 4 だけでなく、ベッドパッド 2 についても使用し得るものである。図 6 に示されるベッドパッド 2 においては、基材 1 4 上に多数の磁石ユニット 5 が配置されている。

【 0 0 1 5 】

更にこの磁石ユニット 5 は、マットレス 1 並びに枕 3 についても使用可能であるが、マットレス 1 並びに枕 3 の場合は掛布団 1 の場合ほどの軽量性は求められないので、磁石ユニット 5 とは構成を異にする磁石ユニット 5 a を用いることができる。例えば、磁石ユニット 5 a として、その方形ベース 6 がシリコンゴムシートではなく、磁性材である金属プレートとしたものを用いることができる。その構成の場合は、方形ベース 6 は正形状を呈していて、その一辺を見てみると片面二極性の大きな磁石となり、各磁極間において発生する磁力線は上側に集中して飛ぶので、無駄なく人体に作用し、就寝中に血液循環を促進して磁気治療効果を高める。

【 0 0 1 6 】

この方形ベース 6 が金属プレートである磁石ユニット 5 a を、他の種類の磁石ユニット又は永久磁石と併用することができる。例えば、図 7 に示される枕 3 においては、この磁石ユニット 5 a と、単体の永久磁石 9 とが併用されている。

【 0 0 1 7 】

以上述べたように、本考案に係る磁気寝具セットは、下から順にマットレス 1、ベッドパッド 2、枕 3、掛布団 4 を積層して成り、それらにはそれぞれ、磁石ユニット 5 (永久磁石 9) が所定の配列にて配備されているので、これら複数種の磁気治療用製品を併用することによる複合的・相乗的な磁気治療効果が得られ、且つ、就寝中の楽な姿勢において、全身に磁気作用を及ぼすことができ、以て、身体全体の血行が促進されてコリが和らげられるという磁気治療効果を十分に享受し得る、非常に有用なものである。

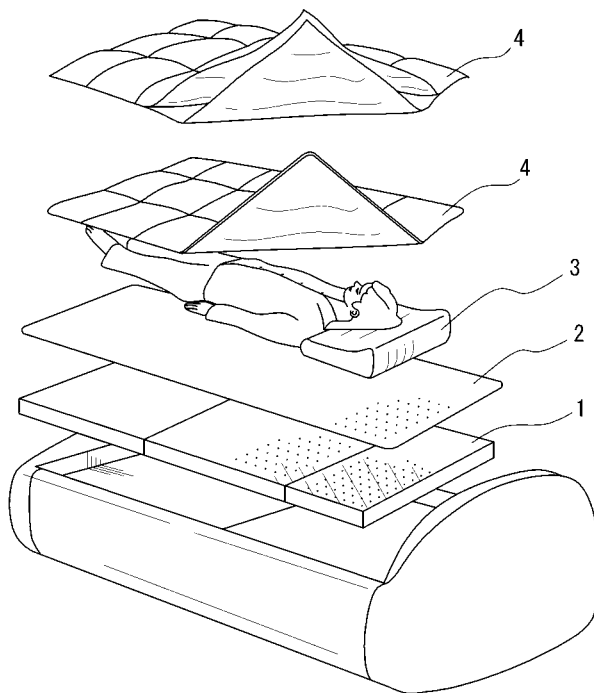
【 符号の説明 】

【 0 0 1 8 】

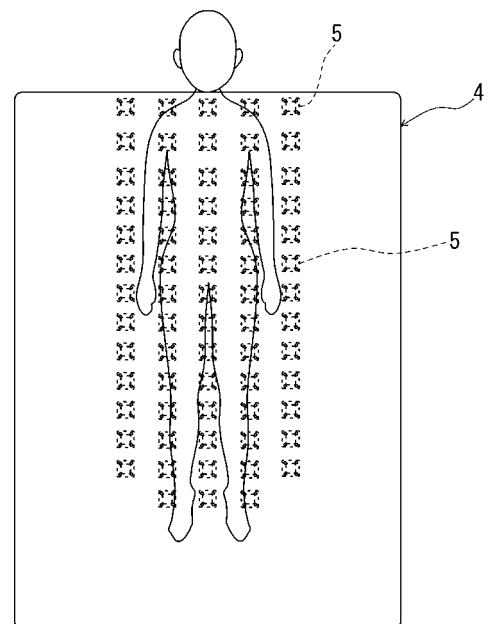
- | | |
|-------|--------|
| 1 | マットレス |
| 2 | ベッドパッド |
| 3 | 枕 |
| 4 | 掛布団 |
| 5 | 磁石ユニット |
| 6 | 方形ベース |
| 7、7 a | 永久磁石 |
| 8 | 裏生地 |
| 9 | 永久磁石 |

- 1 0 補強用熱接着パッチ
- 1 1 磁石露出穴
- 1 2 固定用熱接着パッチ
- 1 3 縫製糸
- 1 4 基材

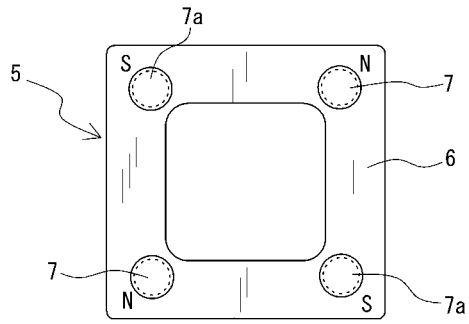
【図 1】



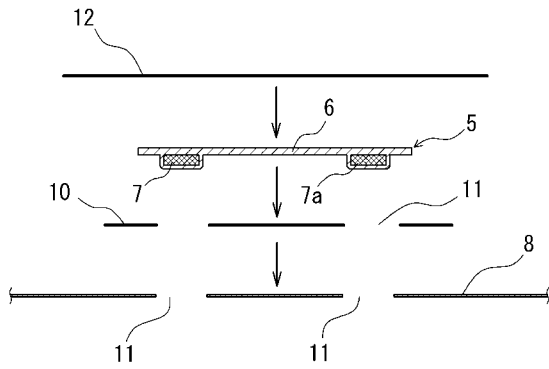
【図 2】



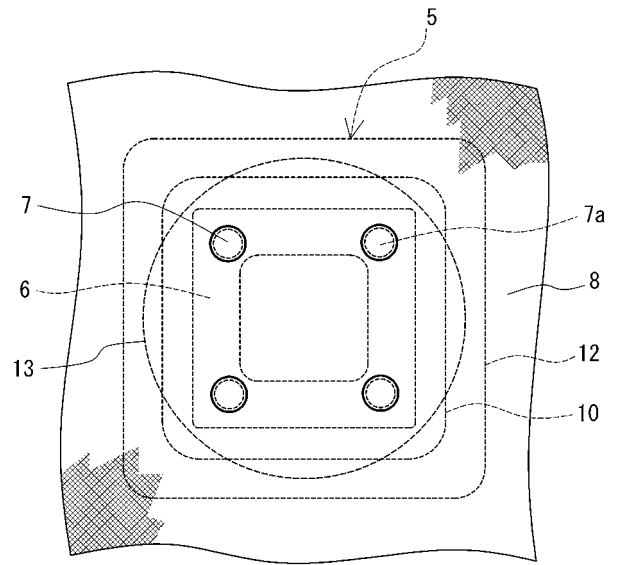
【図 3】



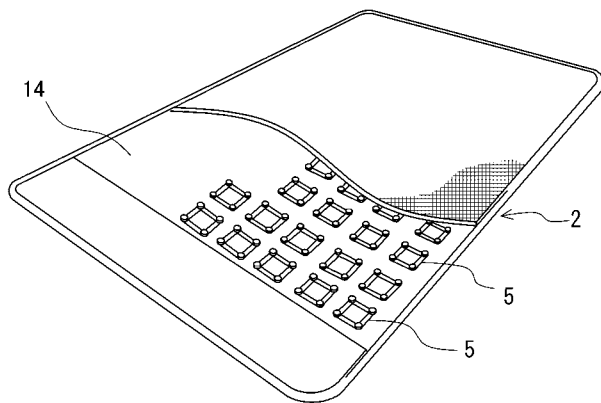
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

